



## 【韓国】 総合指数は週間で1.5%安と3週続落、米インフレ懸念が引き続き重荷か

### 先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で1.5%安と3週続落。週明け9日から売り優勢の展開。米国のインフレ加速と金融引き締めに対する警戒感が強まり、米株式市場でリスク回避の動きが強まる中、韓国市場にも売りが波及した。特に海外勢の売りが目立った。尹錫悦（ユン・ソンニョル）氏が新大統領に就任した10日は政策期待から下げ渋る場面もあったが、節目の2600ポイントを割り込んで終えた。12日までは21年8月以来となる8営業日続落で、2020年11月以来、約1年半ぶりの安値を更新した。一方、13日は大幅に9営業日ぶりに反発し、2600ポイントを回復した。値ごろ感を意識した買いが広がった。今週は米インフレや金融引き締め懸念が引き続き重荷か。国内では16日に4月の輸出入上昇率改定値、20日にPPIが発表される。

▼指数チャート



## 【ロシア】 RTS 指数は週間で4.1%高と大幅に3週続伸、今週はもみ合いか

### 先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は4.1%高と大幅に3週続伸。エネルギー、資源、金融株が軒並み安となったが、ルーブル高が支援となった。先週は9-10日が休場で、3日間の取引。欧米による対ロシア経済制裁が嫌気され、エネルギー株や金融株を中心に幅広い銘柄が下落したものの、通貨ルーブルが対米ドルで3.8%上昇し、米ドル建ての指数を押し上げた。ルーブル建てのMOEX 指数は先週1週間で3.6%安と続落し、年初来で39.1%安。一方、RTS 指数は年初来で29.0%安にとどまっている。個別銘柄では、肥料のフォスアグロが4.3%高となった一方、産金のポリュスが9.0%安、エネルギーのスルグトネフテガスが7.5%安、ルクオイルが5.5%安、金融のズベルバンク・オブ・ロシアが2.4%安となった。今週はもみ合う展開か。

▼指数チャート



## 【ベトナム】 ベトナム指数は週間で11.0%安と大幅に6週続落、今週も引き続き軟調か

### 調か

### 先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で11.0%安と大幅に6週続落。先安観が一段と強まり、指数は1年1カ月ぶりの安値を付けた。週明け9日は前週までの軟調な流れを引き継ぎ、前週末比4.5%安。先安観が一段と強まり、主力大型株が売られた。10日は1.9%高と3日ぶりに反発し、11日も0.6%高と続伸したものの、12日に4.8%安と反落し、13日は4.5%安と大幅に続落した。指数は9日に1300ポイントを割り込み、9カ月ぶりの安値を付けると、13日は1200ポイント割れ。昨年3月29日以来、1年1カ月ぶりの安値で引けた。個別銘柄ではゴム製品のベトナム・ラバーが20.5%安、金融のテクコムバンクが18.6%安、食品加工のマサン・グループが17.2%安、鉄鋼のホア・ファット・グループが14.1%安となった。今週は引き続き軟調か。

▼指数チャート





## 【インドネシア】

**【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 8.7%安、2年8カ月ぶりの高インフレを嫌気**

ジャカルタ総合指数は連休直前の先月28日に比べ8.7%安と大幅反落。荒い値動きが続いた。週初の9日は1-3月期のGDPが前年同期比5.0%増とほぼ市場予想通りだったものの、4月のCPI上昇率が前年同月比3.5%と19年8月以来の高水準に達したことなどが嫌気され、指数は前営業日比4.4%安と反落。その後も売り優勢の展開が続き、12日の終値は、米国の4月のCPI上昇率が前年同月比8.3%と高水準が継続した影響で前日から3.2%下落すると、結局、13日まで5日続落して取引を終えた。今週は17日に4月の貿易統計が発表される予定。16日はワイサク（ブダの生誕記念日）の祝日のため休場となる。

### ▼指数チャート



## 【シンガポール】

**【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 3.1%安、今週は4月の非石油地場輸出が焦点**

ストレーツタイムズ指数は週間で3.1%安と3週続落。外部要因が指数を押し下げた。週初の9日は、中国で続く都市封鎖による世界経済の減速懸念が広がった影響で4営業日続落。10日は前日のNYダウが大幅に下げた流れで前日比1.2%下落すると、11日も買い材料に乏しく下値を広げた。12日は米国の4月のCPI上昇率が市場予想をやや上回ったことが嫌気され、指数は終値で前日比1.9%安と3200ポイントを割り込み、約2カ月ぶりの安値を更新したが、13日は8営業日ぶりに反発して引けている。今週は17日に4月の非石油地場輸出が発表される予定。16日はベサクデー（釈迦誕生祭）のため休場となる。

### ▼指数チャート



## 【タイ】

**【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 2.8%安、今週は17日に1-3月期のGDP発表**

SET指数は週間で2.8%安と3週続落。週後半に終値で1600ポイントを割り込んだ。週初の9日は、米国の金融引き締め加速に対する警戒感に加え、長引くロシアのウクライナ攻撃、中国の都市封鎖の厳格化などが嫌気され、指数は前営業日比1.5%安と5営業日続落。10日は前日比1.1%高と反発したが、11日に反落すると、12日は米国の4月のCPI発表を受けた世界的な株安に連動して、終値で前日比1.8%安と約5カ月半ぶりの安値を更新した。13日は前日からほぼ横ばいで引けている。今週は17日に1-3月期のGDPが発表される予定。16日はウィサカブーチャ（仏誕節）の振替休日のため休場となる。

### ▼指数チャート



## 【マレーシア】

**【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 1.3%安、今週は19日に4月の貿易統計発表**

クアラルンプール総合指数は週間で1.3%安と3週続落。比較的堅調だった国内経済指標の内容が下げ幅を縮めた。週初の9日は3営業日続落したが、10日は通信株や金融株の一角に安値拾いの買いが入り反発。11日は中央銀行が政策金利を0.25ポイント引き上げ2.00%に設定した効果で金融株が買われ、指数は小幅に続伸した。12日は米国のインフレ長期化懸念が嫌気されて前日比1.1%安と反落した一方、13日は1-3月期のGDPが前年同期比5.0%増と市場予想から上振れしたことが買い材料となり反発している。今週は19日に4月の貿易統計が発表される予定。16日は釈迦誕生日の振替休日のため休場となる。

### ▼指数チャート



本レポートは、株式会社DZHフィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZHが信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZHはその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZHで入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZHは、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZHは一切その責任を負いません。

DZHは、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZHおよびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があり、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容についてDZHは一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。